

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



“戦後70年の節目の年 『歴史は繰り返す』”

9月19日午前2時過ぎ、参院本会議で安全保障関連法が可決成立しました。

これからは、自衛隊の海外派兵が可能となり、米軍の戦争に巻き込まれる事態も起こり得ます。

くしくも本会議が始まった9月18日は、1931年のいわゆる満州事変が勃発した日でした。安倍総理が「取り戻す」と称している日本は、日中・日米戦争に至る昭和初期の暴走していた時代の日本ではないかと疑いたくなります。

「歴史は繰り返す」とは、いつの時代も人間の本質は変わらないため、過去にあったことは、また後の時代にも繰り返して起きるということを暗示しています。

戦後70年の節目の年。安保法案は成立してしまいましたが、「終わりではなく、新たな出発」ととらえ、私たちの子どもや孫たちに平和な日本を引き継ぐため、精一杯頑張ります。

さて、第3回定例会市議会（9月議会）は、9月1日から9月29日の29日間開催されました。平成27年度一般会計補正予算等の予算関連議案9件、平成26年度決算認定議案15件、条例議案11件、その他議案7件、人事案件4件、請願1件、報告3件、意見書3件、計53件を審議しました。その内、平成26年度決算認定議案15件は継続審査とし、その他は意見書1件を除き原案通り可決しました。

■ 9月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成27年度一般会計補正予算；補正額2億3,226万円（補正後423億4,548万円）

□ 児童館運営事業；254万円

・ 財団の童心会館を市が南部童心児童館として運営する経費

□ 放課後児童健全育成事業；363万円

・ 放課後児童クラブ「どうしん」を市が運営するための経費

□ 地域子育て支援拠点事業；258万円

・ つどいの広場を市が南部童心児童館で運営するための経費



殿町にある童心会館

□山国社会福祉センター整備事業；7,272万円

- ・6月補正で計上した「かかしの郷」整備事業を廃止し、社会福祉センター整備事業として予算計上。

※利便性を考慮して、買い物センターを閉鎖されるコアやまくにの県信用山国出張所跡に出店するため。

- ・造成工事、土地購入費、建物等補償費
- ・総事業費；4億9,000万円、延べ床面積；約1,000㎡、平成28年度完成予定

□老人憩いの家施設管理事業；238万円

- ・新大塚老人憩いの家のトイレ改修工事

□防災事業；762万円

- ・告知放送塔設置工事（山国町上守実）、防災資機材倉庫設置工事（消防本部）



福祉・買い物センター整備イメージ

2. 条例の制定・一部改正（抜粋）

□選挙公報の発行に関する条例の制定

- ※市長選挙、市議会議員選挙で選挙公報を発行する。

□観光休養施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

- ※深耶馬溪公共駐車場に観光案内所を設置する。

□児童館条例の一部改正

- ※現在の童心会館を公立の「南部童心児童館」として運営する。 観光案内所整備イメージ



3. 財産の取得

□永添総合運動公園用地の取得（31,673㎡）

- ・取得価格 約1億8,054万円、現永添サッカーグラウンド、野球場の一部の土地を九州財務局より購入

4. 工事請負契約の締結

□養護老人ホーム豊寿園建築工事

- ・契約金額；8億6,076万円
- ・木造平屋建て、延べ床面積；3,683㎡、60床×20.9㎡/床、工期；平成28年12月まで



豊寿園の整備イメージ

5. 請願

□中津を日本遺産「諭吉が息づく壱万円札の里」として登録申請する請願

6. 意見書（私たちの会派から提出）

【採択されたもの】

- 子どもの貧困対策の強化を求める意見書
- バカンス法の制定を求める意見書

【不採択となったもの】

- 今国会において「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」を成立させたことに対し遺憾を表明する意見書

9月定例会市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. ふるさと中津の創生に向けて

- ・人口ビジョンの基本的考え方、各支所単位の人口ビジョン
- ・各支所における人口ビジョンを達成するための施策
- ・市民から出された具体的施策の取捨選択の視点
- ・誇りの創造にむけたワークショップの実施
- ・地方創生と子ども子育て支援事業計画の人口ビジョン
- ・上津保育園、山移保育園、津民保育所の再開
- ・家庭的保育、小規模保育所制度の導入

2. プレミアム商品券について

- ・第1期販売の中間総括、第2期の販売方法と追加発行

3. 新歴史民俗資料館建設について

- ・事業計画、ライフサイクルコスト、費用便益分析結果
- ・現在の歴史民俗資料館の活用方針
- ・公共施設等総合管理計画の進捗状況
- ・財政推計における老朽化した公共施設の更新費用と新規事業採択の基本的考え方



1. 地方創生に向けて（抜粋）

〔課題〕中津市では、8月28日、中津版まち・人・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン（原案）を公表し、9月25日までパブリックコメントを実施しました。この総合戦略では、「力を結集し、さらなる発展を目指す地域中核都市なかつ～世界のモデル都市を目指して～」を基本理念として、①中津の第1次産業に新たな道を拓く、②中津の地域や産業が行う未来志向の新しい取り組みを支える、③人を呼び込み、中津を元気にする、④中津の未来を担う人材を育む、⑤安心して住み続けたいと思える中津を目指すという5つの柱を掲げています。



山国町羽高の棚田

2015年の人口推計83,005人に対し、2060年の全体の人口目標は70,695人となっていますが、旧町村ごとの人口ビジョンが示されていません。

将来人口が減っていく中で、どのような社会・地域になっていくのか、あるいはどのような社会・地域を目指していくのか、そういったことが明確に示されていません。

（1）各支所における人口ビジョンを達成するための施策

＜質問＞各支所における特徴的な施策と総合戦略プランの実施によってどの程度の人口増を期待しているのか。

【答弁】全ての支所に関係する施策として、一次産業の復興、特に農業生産法人による農地の集約化等により、儲かる農業の実現と共に雇用創出が期待できます。また、教育環境充実のため、旧

下毛地域での保育所型認定こども園の実施、移住・定住促進策としての空き家バンク制度の充実などを挙げています。

次に、支所毎の特長的な施策例として、三光支所では八面山の観光開発による地域振興、本耶馬溪支所は「そばの里」として知名度アップによる地域振興、耶馬溪支所は深耶馬溪地区を中心とした観光産業の活性化による地域振興、山国支所は買い物支援センター、福祉センターを中心とした小さな拠点整備による地域振興を挙げています。



古羅漢と蕎麦の花

また、期待する人口増として支所毎の目標は設定していませんが、「5年間で第1次産業新規従事者70人、空き家バンク利用移住者数120人」を目標としており、このほとんどが旧下毛地域に居住すると考えられます。

＜私の主張＞山国町槻木の現在の人口は、合併時の304人から189人となり、約30%（115名）も減少しています。現在0～9歳は1名、10代7名、20代7名、30代3名で合計18名しかおらず、このまま自然減となれば45年後の2060年には地区は衰退してしまいます。

この現状から、槻木地区では移住対策等を積極的に推進しなければならないことが分かります。そのため、旧町村・旧小学校区ごとの人口ビジョンを算出すべきと指摘しました。

（2）上津保育園、山移保育園、津民保育所の再開

＜質問＞仕事をしながら子どもを産み育てていくためには、地域に保育園が必要です。過疎化の進行を止めるため、保護者から要望の強い、最近廃園となった上津保育園、山移保育園、休所している津民保育園等を早期に再開すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】上津保育園、山移保育園、津民保育所をそのまま再開することはできませんが、人口減少地域である下毛地域においては、「なかつ子ども・子育て支援事業計画」で地域型保育（家庭的保育、小規模保育）の活用も計画されており、少しでも早く地域型保育が実施できるように体制づくりを行いたいと考えています。

2. プレミアム商品券について（抜粋）

〔課題〕第1期（7月4日～8日）で販売した中津市合併10周年記念・地域消費喚起プレミアム商品券について、先着順の販売方法だったため、多数の市民が集中する結果となり混乱を招きました。

2割という高額なプレミアムでヒートアップして、全国的にも大問題となった商品券ですが、2期の販売に向けて販売方法の見直しが必要です。



購入できなかったプレミアム商品券

（1）第2期の販売方法と追加発行は

＜質問＞プレミアム商品券の購入を希望する全ての市民に行きわたるよう各世帯に購入希望のはがきと引き換え券を郵送し、販売すべきと考えますが如何ですか。

すでに6億円分が販売済みで残りが2億円しかありませんが、購入希望額がそれを超えた場合には追加の予算措置を行うべきと考えますが如何ですか。

【答弁】第1期の販売に対しての市民からのご指摘、ご要望を踏まえた結果、より多くの方々が商品券を購入できるよう、第2期の販売方法については、先着順から事前応募による抽選方式にすること、また、購入限度額の減額や、購入対象者等の変更を行うこととしました。追加の予算措置については、国からの交付金の額が既に決定されていることから、変更は出来ません。

＜私の主張＞第1期のプレミアム商品券の販売は、早期に商品券を売りさばきたいという売る側の立場でしか考えられていません。3月議会で私たちが指摘した「幅広く市民にいきわたるように」という買う側の立場は無視された格好になっています。

第1期販売のあり方を反省し、新たな販売方法を検討することを強く求めました。

3. 新歴史民俗資料館建設について（抜粋）

〔課題〕自治体においては、高度経済成長期の人口急増に伴って集中投資された公共施設の老朽化が進み、施設の更新需要が高まっています。今後巨額の更新投資負担が集中して発生することが予想されますが、地方交付税の削減や社会保障経費の増大が見込まれる中、更新・修繕費用の確保が懸念されてきています。



新歴史民俗資料館の整備イメージ

このような状況の中、新たな大型事業の建設にあたっては、建設費のみならず、ライフサイクルコスト（建設から運営、解体までの総経費）がどの程度かかるのかを検討する必要があります。一般的には、建設費のおよそ3～4倍、病院では5倍の経費が必要と言われています。

人件費のかかる新歴史民俗資料館では、建設費15億円で試算すると、約60億円、耐用年数を60年とすると毎年1億円の経費が市の財政に重くのしかかってきます。

（1）財政推計における老朽化した公共施設の更新費用と新規事業採択の基本的考え方

＜質問＞今後5年間で地方交付税が約15億円程度削減されていく中で、老朽化した公共施設の更新費用が市の財政推計にどの程度計上されているのか、新規事業採択の基本的考え方、採択基準について伺います。

【答弁】老朽化した公営住宅など公共施設の更新に要する経費は、すでに財政推計に反映しています。また、新規事業採択の基本的考え方、採択基準についてですが、これまでは市の第4次総合計画に位置付けられているかどうか意思決定時の判断材料でした。これからは、10月末完成予定の中津市版総合戦略に位置付けられた事業であるかどうか新たな判断材料となります。

なお、ライフサイクルコスト等を十分精査し、財政推計との対比を行うことで、健全な財政運営の支障とならないことを前提としております。

＜私の主張＞公共施設の老朽化対策は待ったなしです。今後5年間で地方交付税は約15億円程度削減されていく中で、他にも大型事業は目白押しです。

公共施設の統廃合や長寿命化など、公共施設等をどのように管理していくかを定める公共施設等総合管理計画の策定を前倒しし、施設の統廃合など我慢すべきところは我慢する、新たな施設は建設しないなど、早期に持続可能な財政基盤を確立することを求めました。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活動内容
7月2日	(木)	6月議会最終日、友好都市推進研究会
7月5日	(日)	戦争法案反対街頭宣伝活動
7月6日	(月)	会派視察(岩手県一関市、福島県郡山市、会津若松市、8日まで)
7月9日	(木)	北部公民館現地視察(佐伯市)
7月11日	(土)	県政市政報告会in沖代、北部校区5町合同防災訓練実行委員会
7月12日	(日)	各種団体との意見交換会(厚生委員会)、新大塚町自治会役員会
7月13日	(月)	原水爆禁止平和行進
7月15日	(水)	生涯学習大学 第3回中津学、議員ソフトボール練習試合
7月16日	(木)	中津地区労働者福祉協議会定期総会
7月18日	(土)	県政市政報告会in今津、北部校区なぎさサロン
7月19日	(日)	新大塚町防犯パトロール
7月23日	(木)	大分県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会、中津祇園(町内踊り)
7月24日	(金)	中津祇園(花火大会)、議会ふるさと創生推進本部会議
7月25日	(土)	中津祇園(太宰府市が特設ブース設置)
7月26日	(日)	新大塚町救急救命講習会、中津祇園(戻り車)
7月27日	(月)	議会厚生委員会協議会、連合中津地区協議会議員懇談会、中津祇園(引き出し)
7月29日	(水)	厚生委員会視察(東京都品川区、群馬県住宅供給公社、横浜市、31日まで)
8月1日	(土)	北部校区なぎさサロン役員会、地元平成会8月例会
8月2日	(日)	県政市政報告会in小楠
8月3日	(月)	議会全員協議会、企業誘致及び地域活性化推進研究会
8月5日	(水)	ふるさと中津の創生に向けた提言書提出、手話言語等条例に関する学習会
8月7日	(金)	アカデミー研修会(小豆島、9日まで)
8月9日	(日)	寺町とうろう祭り
8月10日	(月)	地方創生に向けた高校生とのワークショップ
8月11日	(火)	初盆家庭お参り(14日まで)
8月14日	(金)	新大塚町納涼盆踊り大会
8月15日	(土)	戦争法案を止めよう大分県集会
8月17日	(月)	議会ふるさと創生推進本部、友好都市交流推進研究会(太宰府市、18日まで)
8月20日	(木)	厚生委員会現地調査(放課後児童クラブ、幼稚園預かり保育)
8月21日	(金)	農業委員会農政部会、自治体議会課題検討会議
8月22日	(土)	愛のなかつ未来像報告会、鶴市花傘鉾大祭
8月23日	(日)	新大塚町人権研修会
8月27日	(木)	暴力追放・銃器根絶大分県民大会、新大塚町自治会役員会
8月28日	(金)	議会全員協議会、認可保育所協議会との意見交換会
8月29日	(土)	北扇ドリーム練習、耶馬溪千本づきフェスタ
9月1日	(火)	9月議会開会日、につぼん酒をつくる会理事会、議会ふるさと創生推進本部
9月3日	(木)	戦争法案反対アピールウォーク、県政市政対策会議
9月4日	(金)	議会基本条例策定特別委員会、耶馬溪移住者との意見交換会
9月5日	(土)	耶馬溪につぼん酒をつくる会稲刈り
9月6日	(日)	大分県県民体育大会議員リレー
9月8日	(火)	9月議会議案質疑、議員ソフトボール練習試合
9月9日	(水)	9月議会常任委員会(厚生)、北部公民館陶芸教室
9月10日	(木)	9月議会常任委員会(文教経済・建設農林水産)、議員ソフトボール練習
9月11日	(金)	農業委員と認定農業者意見交換会
9月12日	(土)	県民体育大会議員ソフトボール(13日まで)
9月15日	(火)	9月議会委員長報告・質疑・討論・採決、議会基本条例策定特別委員会
9月16日	(水)	9月議会一般質問(18日まで)
9月19日	(土)	北部校区なぎさサロン、北部校区5町合同防災訓練実行委員会
9月20日	(日)	新大塚町敬老の日の集い
9月25日	(金)	9月議会自由討論、議会基本条例策定特別委員会
9月27日	(日)	沖代条里と道と祭祀シンポジウム、新大塚広場・町内道路清掃活動
9月29日	(火)	9月議会最終日、会派決算審査打ち合わせ
9月30日	(水)	中津市戦没者追悼式



県政市政報告会 in 沖代



各種団体との意見交換会



農地パトロール出発式



につぼん酒をつくる会稲刈り



県体議員ソフトボール3位



新大塚広場・道路清掃活動

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊カインクルメントで検索して下さい。

編集後記 (ひとりごと)

耶馬溪につぼん酒をつくる会稲刈りの直会で、携帯電話をなくして大慌てしました。ドコモに連絡して、とりあえず使えなくしてもらい、データのロックをお願いしました。ダメもとで、携帯電話がどこにあるのか調べてもらったら、まだ会場付近にあるとのこと。翌日探しに行くと外に落ちていました。皆さん、日頃からデータのバックアップを取っておきましょう。(まさとし)